



カーボンニュートラルへの取組み

日本学術会議公開シンポジウム 2050年カーボンニュートラル実現に 向けたエネルギーシナリオ

ウェブ開催
参加無料

2022年4月1日(金) 13:00~17:30

主催：日本学術会議 総合工学委員会エネルギー科学技術に関する分科会
共催：一般社団法人エネルギー・資源学会、一般社団法人日本エネルギー学会他

開催趣旨

2020年10月にわが国は2050年カーボンニュートラル（温室効果ガス実質排出ゼロ）実現を宣言し、21年4月には、30年度までに13年度比で温室効果ガス46%削減を表明した。我が国の温室効果ガス排出量の85%程度はエネルギー起源のCO₂であり、温暖化対策はエネルギー政策と不可分である。わが国のエネルギー政策はエネルギー基本計画に基づいて進められており、2021年10月に閣議決定された第6次エネルギー基本計画では、安全性(SAFETY)の確保を前提とし、2050年カーボンニュートラルなど気候変動対策(ENVIRONMENTAL COMPATIBILITY)を進める中でも、安定供給(ENERGY SECURITY)の確保やエネルギーコスト低減(ECONOMIC EFFICIENCY)に向けた取組みを進めるとし、従来からのS+3Eという基本方針を維持している。一方、21年11月にはCOP26（気候変動枠組み条約締約国会合）において、気温上昇を1.5度以内に抑制するパリ協定の努力目標の実現を目指す強いメッセージがまとめられ、石炭火力を段階的に低減することなどが合意された。このような国内外動向を踏まえて、本シンポジウムでは、わが国の2050年カーボンニュートラルを実現するためのエネルギーシナリオについて議論する。

総合司会 岩城 智香子

（日本学術会議連携会員、東芝エネルギーシステムズ株式会社 エネルギーシステム技術開発センターシニアフェロー）

13:00 開会挨拶

疇地 宏（日本学術会議連携会員、大阪大学名誉教授）

13:05 課題と背景

山地 憲治（日本学術会議連携会員、公益財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE)理事長・研究所長）

13:30 「エネルギーをとりまく『変化』と日本の課題」

高村 ゆかり（日本学術会議第一部会員、東京大学未来ビジョン研究センター教授）

14:00 「COP26を含む地球温暖化をめぐる内外情勢と日本の課題」

有馬 純（東京大学公共政策大学院特任教授）

14:30 「カーボンニュートラル実現に向けたエネルギー・電力システム」

小宮山 涼一（東京大学大学院工学系研究科准教授）

15:00 「脱炭素社会の実現に向けた取り組みと役割」

増井 利彦（国立研究開発法人国立環境研究所社会システム領域室長）

15:30 「鉄鋼業のカーボンニュートラルにむけた取り組みと課題」

手塚 宏之（日本鉄鋼連盟エネルギー技術委員長、JFEスチール（株）専門主監（地球環境））

16:00 休憩（15分）

16:15 総合討論

山地 憲治、高村ゆかり、有馬 純、小宮山涼一、増井利彦、手塚宏之、
藤野純一（公益財団法人地球環境戦略研究機関プログラムディレクター）

17:25 閉会挨拶

齋藤 公児（日本学術会議連携会員、日鉄総研株式会社シニアフェロー）

事前参加登録：リンク先より参加登録してください

https://teams.microsoft.com/registration/ux5YhAUNqkincFGSmDdA_Q_yyqafZ3ZL0yGUOD8CQQ3zQ_B4juYML_HHkO4giGaox0Fpg,0PHaXFfFOEOdLGDHPvNkug,zXAPcnQhokSgLwV8cq6dXw,5dZ91TR9e0SE4nWqfZ1ymg?mode=read&tenantId=84581ebb-0d05-48aa-a770-5192983740fd

問合せ先： Carbonneutralsymp0401@gmail.com